

浄土平の沼

浄土平のトレッキングコースは、春から秋にかけて花を咲かせる亜高山植物が縁に生育する沼に続いています。火山クレーターに地下水や雨水がたまってできた沼もあれば、高い透明度や鮮やかな青色を誇る沼もあります。それぞれに異なる魅力を持つこれらの沼へは、いずれも浄土平ビジターセンターから徒歩（10分～2時間）で訪れることができます。

鎌沼

春・夏・秋には、鎌沼（1,760m）の野草に惹かれるように人々がやってきます。ここを訪れた際には、8月から9月にかけて花を咲かせる、珍しい原生のアズマホシクサ（*Eriocaulon takae*）を目にすることができます。アズマホシクサは、細い茎の先に小さい星のような芽をつけます。6月にはピンクのイワカガミが咲き、8月から9月には紫色のエゾオヤマリンドウ（*Gentiana triflora* var. *japonica* f. *montana*）が咲き誇ります。鎌沼の西側と南側の縁は、多くの葉をつけるコバイケイソウ（*Veratrum stamineum* var. *gladrum*）の群落が覆い、6月から7月にかけては、数年に一度、白い花が咲きます。

鎌沼は、形が鎌に似ていることからその名がついています。直径約 1,000 メートル、深さ 6 メートルで、酸ヶ平湿原や姥ヶ原湿原に隣接していて、北側には一切経山が位置しています。浄土平ビジターセンターからは 5 キロ歩くと到達できます（往復約 2 時間）。

五色沼（魔女の瞳）

五色沼は、火口の中に位置し、人々の心を魅了する五色の水でできていることから、「魔女の瞳」という名前がついています。五色沼は、天候や時間帯により、エメラルド色の縁取りに濃い青になったり、鮮やかなサファイア色担ったりと、その色が変わります。浄土平ビジターセンターから約 1 時間 20 分で到達できる一切経山（1,949m）山頂からは、高山性低木や針葉樹に囲まれた五色沼を見渡すことができます。さらに 20 分歩くと、五色沼を見下ろすことのできる火口壁の稜線に着きます。五色沼は、直径約 300 メートル、深さ 9 メートルです。

樋沼（樋沼）

樋沼（1,595m）は古い成層火山の火口にある沼で、深い落葉樹林に囲まれています。直径約 150 メートル、深さ約 13 メートルです。春と夏には濃紺の水が周囲の緑と見事なコントラストを生み、秋には色鮮やかな紅葉が見られます。6 月から 7 月には、樋沼へ続くトレッキングコース沿いに、薄いピンク色をした珍しい原生のネモトシャクナゲの群落が咲きます。

浄土平ビジターセンターからは 10 分で到達することができます。トレッキングコースをさらに 10 分ほど進むと、キャンプ場と山小屋がある兔平に着きます。